

平成30年度 上田市立豊殿小学校 自己評価シート(中間報告10月現在)

学校教育目標	めざす子どもの姿
心豊かで向上心を持ち、実践力のある子どもの育成	やりぬこう: 目当てを持ち、自分で考え、ねばり強くやりぬく子ども(知) つたえよう: 自分の考えを広め、友だちの考えを受け止め、互いに認め助け合う子ども(徳) くふうしよう: 自分で気づき、自分から動く子ども(情)
	今年度の具体目標
	1 豊かな心を育む
	2 子どもが学習主体になれる授業・学習単元作り
	3 自主自律

総合評価

領域	対象	評価項目	評価の観点
学校教育	教科指導	基礎基本の定着	朝の教科学習の時間 や家庭学習に学び直しを取り入れ、全児童の学力向上を図れたか。
		子ども主体の授業づくり	授業のねらいを明確に板書し(NKB:ねらいを書く板書)、 ペア・グループ学習などを取り入れ 、「子どもが主体的に学ぶ学習」を実践できたか。
		ユニバーサルデザイン化	教室の環境を整えたり、誰もがわかりやすい板書、授業の進め方を考え、実践できたか
		個への支援・特別支援の充実	個に応じた指導・支援・工夫ができたか。
	特別活動・生徒指導	さわやかな学校づくり	校内外での気持ちよいあいさつや靴揃えを実践できたか。
		心の学習の実践	人権教育・道徳・異学年や地域の方との交流等で、 自他の良さを認め合う学習 を実践できたか。
		キッズ活動・児童会活動の取組	異年齢集団の活動で、相手意識をもって、自らすすんで活動するよう支援できたか。
		教育相談	日頃の観察・相談・授業支援・アンケートを通して、 悩んでいる子への理解と支援 ができたか。
	健康安全	安全管理・危機管理意識の高揚	あらゆる場面を想定し、子どもが「自分の命は自分で守る」ために、考え行動するよう指導できたか。
		体力向上	体力テスト等で体力の実態を把握し、柔軟体操やバランスの良い運動と体力作りの実践ができたか。
	地域などとの連携	情報モラル教育の充実	適切な情報の取り扱いについて学ぶ機会を設け、保護者・児童のメディアリテラシーに関する意識を高めることができたか。
		保護者アンケートの実施	保護者からの意見・要望に対して、 誠実に対応 することができたか。
豊殿小コミュニティスクール		地域と連携した取組や学校運営をすることで、子どもたちが学びを広げ深めることができたか。	
幼保小中連携事業の推進		スムーズな受け入れ、進学のため幼保小中連携事業を計画・実践できたか。	
研修		綱紀肅正、セクハラ防止等の取り組み	未然に防ぐための相談窓口の運営及び非遵行為防止等の研修を実施できたか。
	自己研修	全職員が積極的に授業を公開したり、授業力向上のための研修を深めたりすることができたか。	

現在までの 成果と課題	評価
・朝の教科学習の時間は金曜日の朝に定期的に位置づいてきた。 ・学力向上主任よりお便りが発行され、職員の教科学習への取り組み方の意識が高まっている	B
・板書はできている学級が多いが、まだすべての学級・すべての授業でできていないところがある。 ・ペア・グループ学習についても、取り入れることが増えてきている。	B
・1時間の授業の流れを示し、次にやること分かる学級も出てきている。	B
・支援員の先生と連携を取り、個に応じた内容ややり方で学習をすることができている所もある。	B
・児童会でもあいさつに力を入れ、お互いが爽やかになるあいさつをすることができている。 ・ガンバ応援団の皆様も積極的にあいさつをさせていただいていることから、あいさつができる子が増えている。	A
・水曜日の1校時を全校一斉に道徳の時間とし、教科書を中心に実践に取り組んでおり、友達への声のかけ方や休み時間のかかわりに、温かさが出てきている。 ・ローマンうえだ、ともいきライブ住吉の各施設様のご協力により、交流を通じて相手への思いやりを育むことができています。	A
・朝のキッズ活動の時間には6年生がリーダーとなり、どの学年もが楽しめる遊びや活動を考えており、1年生も楽しみに参加することができている。 ・キッズ遠足(10月10日実施)では、参加者全員が最後まで楽しむ姿が見られた。	A
・担任から声をかけて、相談室を利用したりスクールカウンセラーに相談したりし、悩みを話せる機会をもっている子もいる。	B
・年間行事計画に位置づいている避難訓練や防犯訓練を通し、命の守り方のスキルを高めている。 ・突発的な自然災害時の対応にもう少し力を入れていきたい。	B
・体力テストでの実態把握は行うことができています。全校運動でまだ生かし切れていない。	B
・学校から発信する内容については十分に木をつけることができていますが、保護者・児童の意識を高めることがまだ不十分である。	B
・担任だけでなく、校長・教頭・関係職員で内容を共有し、よりよい方向を保護者の方と共に考えるようにしている。	B
・棚田での活動、地域探検、読み聞かせ、学習支援、クラブ支援等、様々な機会に地域の皆様も子どもに向き合ってくださいっており、子どもたちはふるさとについて考えたり意欲的に活動したりすることができています。	A
・今年度の計画の通りに実践してきており、学区外からの入学予定者についてもきちんと連絡が取れている。	A
・職員会の折に、非遵行為防止研修を行い、意識を高めることができています。	A
・1学期は積極的に授業公開を行い、授業研究会も行うことができた。2学期は外部に公開することも多いが、そこで得られたものを積極的に本校内の実践に取り入れていきたい。	B

○ 評価基準 A…達成できた B…おおむね達成できた C…やや達成できなかった D…達成できなかった